

「恋人の聖地」で初の結婚式 山梨・南部町の白鳥山森林公園

2011/5/19 1:20 | 日本経済新聞 電子版

山梨県南部町は21日、「恋人の聖地」として知られる町立白鳥山森林公園で同町出身のカップルの結婚式を行う。「恋人の聖地」は静岡市の特定非営利活動法人（NPO法人）、地域活性化支援センターが男女のふれあいの場にふさわしい場所として全国107カ所を登録している。同公園での結婚式はNPO法人認定による「恋人の聖地」での初の挙式となる。

式は市民結婚式として公開。静岡県富士市の結婚サービス会社、ブライダルハウスが運営する。同社の山本哲夫社長は南部町出身で、富士山を望む同町の活性化の一環として公園での式を発案したという。新婦のドレスはトウモロコシを原料とした環境配慮の素材を使用し、「グリーン・ウエディング」と銘打つ。

公園は2007年10月に「恋人の聖地」として登録された。町は今回の結婚식을契機に、富士山のほか南アルプスを見渡すことができる公園を若者のデートスポットとして全国に売り込みたいとしている。

NIKKEI Copyright © 2011 Nikkei Inc. All rights reserved.

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。